

令和6年5月10日
石川県立美術館 担当：山本、谷口
TEL：076-231-7580

能登半島地震復興応援プロジェクト「甦れ 能登」
特別展「能登が育んだ作家たち」の開催について

1 概要

この展覧会は、県立美術館が行う能登半島地震復興応援プロジェクトとして開催するもので、能登生まれの作家の優品や能登を題材とした秀作を一堂に展示するものです。

パンフレット（下記 URL）のとおり、能登ゆかりの絵画、彫刻、工芸等の作品をジャンルレスに展示します。

2 会期

6/1（土）～6/23（日） 23日間

3 観覧料

一般 1,000 円 大学生 800 円 （高校生以下は無料）

4 見どころ（ポイント）

(1) 当館の所蔵品を中心に、石川県をあげて能登を応援するという観点から、金沢市以南の公立美術館・博物館からも出品いただいたほか、民間企業からもご協力いただいた。（作品総数 72 うち当館 61 金沢市 3 白山市 1 小松市 2 民間 5）

(2) 展示は、絵画、彫刻、工芸等の作品をジャンルレスに、市町毎に並べるという構成とした（新たな試み）。

(3) この展覧会の観覧料は全額、能登の美術文化の再興のために活用する。

5 関連イベント

輪島漆芸技術研修所 小森所長（人間国宝）と県立美術館 青柳館長のトークショーなどを予定

【問い合わせ先、参考 URL】

石川県立美術館 TEL 076-231-7580 Mail ishibi@pref.ishikawa.lg.jp

URL：https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/wp-content/upload/2024/04/noto_chirashi_compressed.pdf

〈能登半島地震復興応援プロジェクト〉
特別展「能登が育んだ作家たち」の開催にあたって

— 能登はやさしや土までも —

当地で古くから言い伝えられてきた言葉です。能登に生きる人たちの優しさ、慎ましやかさ、底にある芯の強さ、そうした人たちが育んだ能登の風土を表した言葉です。

本年元日この地を襲った大震災により、能登ののどかで穏やかな日常は一変しました。多くの人たちが茫然自失とし、立ち尽くす日々。

そんななかでも、救援に入った人たちに「きのどくな。(ありがとうございます、恐縮です)」と深々と頭を下げ、困ったことはないかと尋ねられると「なーん、特に困ったことはない、こうしてあぶののうて、ぬくいところにおいてもろて(危なくなくて暖かいところにおいてもらえて)、ありがたいこっちゃ。」と答え、そして、帰り際には「あんたら、これ、ちょっこし、持ってかっしま。(ちょっとでも持って行ってください)」と気遣う。

被災した身でありながら、声高に何かを求めることのない慎ましやかさ、そして他者への感謝と思いやるころ。こうした柔らかな温かさ、これが能登の人であり、その生き方は我々がどこかで忘れてきたこの国の宝物のように思うのです。

この展覧会は、能登に生まれ今もこの地で活躍している作家、生地を離れ新しい土地で制作に励む作家、能登に思いを寄せ、題材として表現する作家の作品をご紹介します。どれもが能登が育み、能登に魅せられた作品です。

本展は、当館所蔵の作品のみならず、金沢市以南の市町の美術館、博物館にもお声がけしたほか、数多の優品を所蔵しておられる民間企業のご協力も得て、石川県をあげて能登を応援しようという思いで企画しました。

この国の宝物が失われてしまうことのないよう、我々も能登の新たな再興を一杯応援してまいります。

” 甦れ 能登 ! ”

本展の趣旨に鑑み、この展覧会の観覧料は全額、能登の美術文化の再興のために活用いたします。

能登半島地震復興応援プロジェクト

甦れ能登

特別展

能登

作家たちが育んだ

6/1(土) > 23(日) 会期中無休

9:30 > 18:00 <入館は17:30まで>

観覧料 一般 1,000円(800円) / 大学生 800円(600円) / 高校生以下無料

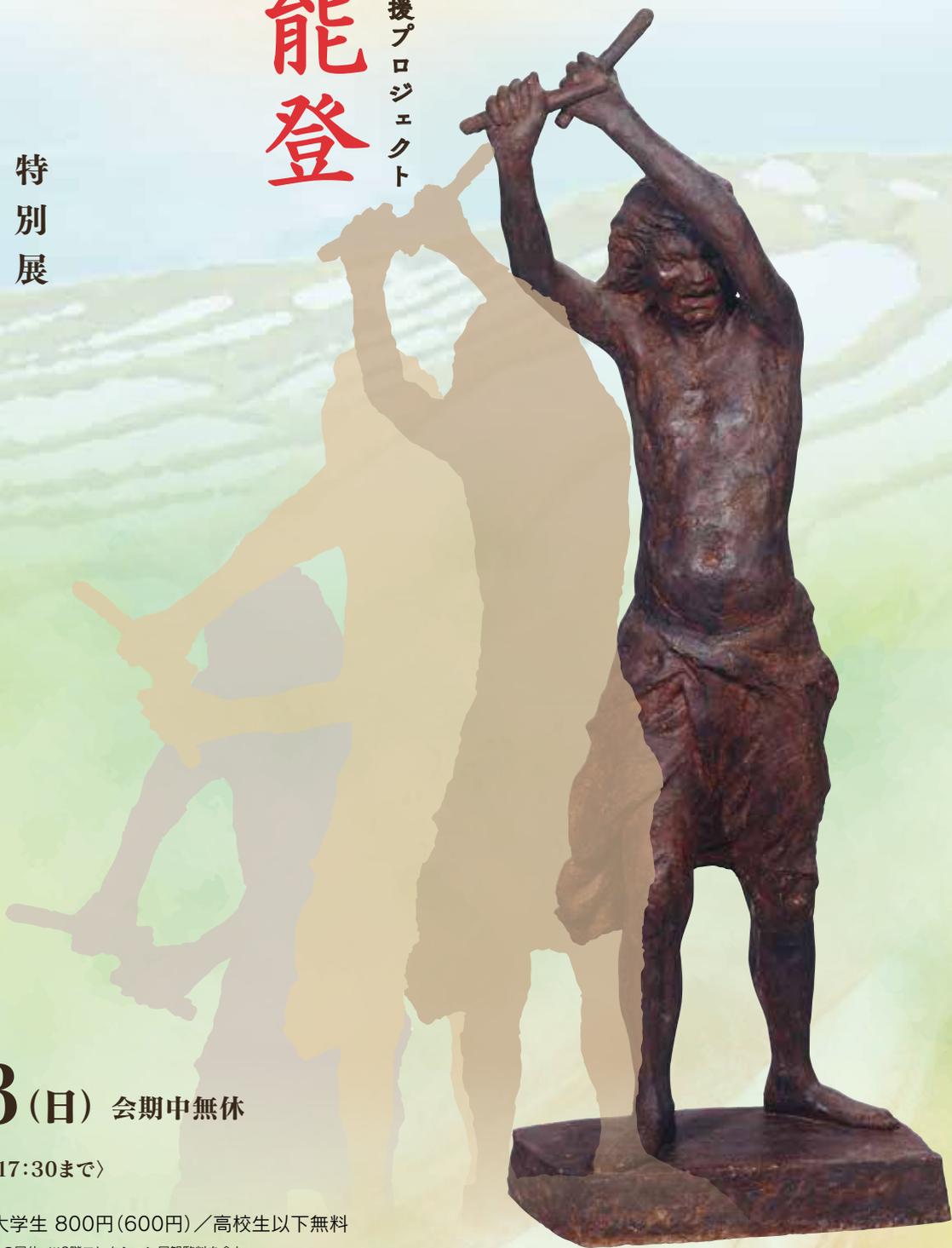
※()内は65歳以上の方および20名以上の団体 ※2階コレクション展観覧料を含む
※身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育手帳をお持ちの方、またはミライIDをご提示の方
および付き添いの方1名は観覧無料

【主催】石川県立美術館 【特別協力】北國新聞社

【後援】NHK金沢放送局、MRO北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送

石川県立美術館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

坂垣道《御陣乗太鼓》1979
石川県立美術館蔵



〈能登半島地震復興応援プロジェクト〉

特別展「能登が育んだ作家たち」

ごあいさつ

— 能登はやさしや土までも —

当地で古くから言い伝えられてきた言葉です。能登に生きる人たちの優しさ、慎ましやかさ、底にある芯の強さ、そうした人たちが育んだ能登の風土を表した言葉です。

本年元日この地を襲った大震災により、能登ののどかで穏やかな日常は一変しました。多くの人たちが茫然自失とし、立ち尽くす日々。

そんななかでも、救援に入った人たちに「きのどくな。(ありがとうございます、恐縮です)」と深々と頭を下げ、困ったことはないかと尋ねられると「なーん、特に困ったことない、こうしてあふのうて、ぬくいところにおいてもろて(危なくなくて暖かいところにおいてもらえて)、ありがたいこっちゃ。」と答え、そして、帰り際には「あんたら、これ、ちょっとし、持ってかっしま。(ちょっとでも持って行ってください)」と氣遣う。

被災した身でありながら、声高に何かを求めることのない慎ましやかさ、そして他者への感謝と思いやるこころ。こうした柔らかな温かさ、これが能登の人であり、その生き方は我々がどこかで忘れてきたこの国の宝物のように思うのです。

この展覧会は、能登に生まれ今もこの地で活躍している作家、生地を離れ新しい土地で制作に励む作家、能登に思いを寄せ、題材として表現する作家の作品をご紹介します。どれもが能登が育み、能登に魅せられた作品です。

本展は、当館所蔵の作品のみならず、金沢市以南の市町の美術館、博物館にもお声がけたほか、県内の作家活動を支援し、数多の優品を所蔵しておられる北國新聞社のご協力も得て、石川県をあげて能登を応援しようという思いで企画しました。

この国の宝物が失われてしまうことのないよう、我々も能登の新たな再興を力一杯応援してまいります。

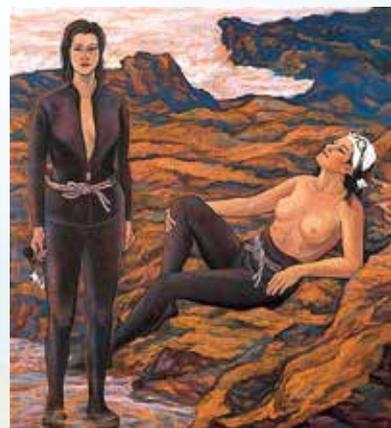
“甦れ 能登!”

本展の趣旨に鑑み、この展覧会の観覧料は全額、能登の美術文化の再興のために活用いたします。

- 1| 松下久信《早春の福浦港》2011 / 石川県立美術館蔵
- 2| 羽根万象《融島夕樵》1975 / 石川県立美術館蔵
- 3| 山脇錦雲《能登海浜図》1923 / 石川県立美術館蔵
- 4| 三谷吾一《海の詩》1988 / 石川県立美術館蔵
- 5| 前 大峰《沈金猫文「けはひ」飾盤》1963 / 石川県立美術館蔵
- 6| 蔦 健三《朝市=3人》1987 / 石川県立美術館蔵
- 7| 松崎十朗《海へ》2021 / 石川県立美術館蔵



1



2



3



4



5



6



7

関連行事

小森邦衛(漆芸家・人間国宝)×青柳正規(当館館長) トークショー

日時:6月1日(土) 13:30~

会場:石川県立美術館ホール ※参加無料、申込不要

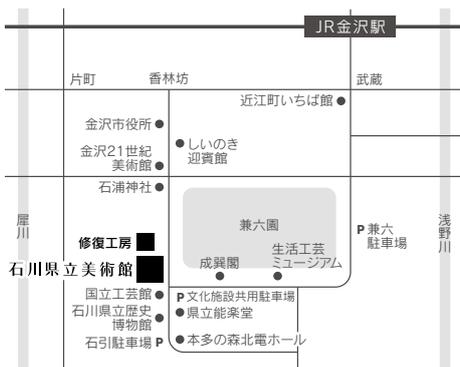
映画上映「重要無形文化財 輪島塗に生きる」

日時:6月16日(日) 13:30~(35分間)

会場:石川県立美術館ホール ※参加無料、申込不要

同時開催 2階コレクション展

- ・歴代藩主の甲冑・陣羽織と加賀象嵌鏡I
- ・古九谷と再興九谷
- ・優品選[絵画・彫刻]
- ・幾何学文様のデザイン[工芸]



〈交通のご案内〉

バス

JR金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)から、路線バスで「出羽町」または「広坂・21世紀美術館」下車、徒歩5~7分

タクシー

JR金沢駅から4km、平常時で10~15分

自家用車

北陸自動車道「金沢西」もしくは「金沢森本」インターから20~30分
来館者用の駐車場(無料)あり

石川県立美術館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1
Tel.076-231-7580
https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/

